



団
結

高齢者の老害化が進む!! ～人は何故? 年齢と共に怒りっぽくなるのか!!～

<人は老害化する!!>

人間の性格は年齢を重ねるほどに変化をする。とても素晴らしい歳の取り方をする人も居れば、逆に傍若無人の習性(性質)が出て、いわゆる『老害』になる人もいます。

※「老害」:老齢による弊害。歳をとることで周囲が見えず、周りに迷惑をかける年配者のこと。

昭和→平成→令和と続く激動の時代を生き抜いてきた世代は、豊富な人生(職務)経験および知識、知恵(技)等を持っており、本来ならば尊敬(敬われるべき)存在である……しかし、しわ寄せは確実に若い世代へ。

日本の総人口における約3割が65歳以上を迎えており、年配者の老害化への対処法について避けては通れない、今後の最重要スキルの一つと言っても過言ではない筈です。

その厄介な『老害』を生みだすメカニズムには、年齢だけでなく、更に3つの要因が関係しているようです。

『老害』と呼ばれる年配者達は何故? 怒りっぽくなるのか.....



☆ 要因の1つ目 執着心

立場(職位)・こだわり(自分本位の考え方)・プライド(自信過剰)・成功体験(過去自慢)等、過去の実績や功績への執着心が非常に強くなる傾向もあり、根性論や感情論が大好きで「努力」「気合い」「根性」の3文字が染み付いている。色々なものから自分自身を守る分だけ『感情が強く入ってしまう』訳であります。



☆ 要因の2つ目 孤独感



一区切りを迎えた方々(定年退職)は特に、職場内での肩書き(役職)を解かれているケースが多く、自分を奮い立たせていたもの、自分を認めてもらう機会が少なくなることにより、必然的に周囲からの孤独感を強く受けたことに繋がり、無意識のうちに『イライラ感を募らせてしまう』訳であります。

☆ 要因の3つ目 自己顕示欲



「まだまだ自分は出来る!!」「自分はもっと評価されるべきだ!!」「こんなに頑張っているのに!!」という感情が先に立ち、自分の存在が過小評価(小さく見られる・扱いが雑にされる)を許せずに、怒声により自分を誇示したり、『大柄な態度を取ってしまう』訳であります。

他にもこんな特徴が... ① どんなことにも否定から入る!! ② 上目線で偉そうに振る舞う!! ③ 年上だから尊敬(尊重)されるのが当然と思っている!! ④ 会話好きで長い(クドい)!! ⑤ 時代の流れに関係なく価値観が揺るがない!! ⑥ ハラスメントに対する認識が乏しい!! ⑦ 自分の非(ミス)は認めようとしない!!など、老害当事者には「誰かと話す→ストレス発散」と無意識のうちに考えている人達が一定数で存在しています。

老害化に関しては『48歳』が分岐点になるとも言われています。

重要 Point → ~老害化は48歳が分岐点 & 世代間別時代背景を検証!!~

世代間での価値観の違い～人の価値観・行動傾向～ 育った環境および時代背景の影響が大きい!!

X世代 ⇒ 1965年～1980年頃に生まれた層。 <アナログ～デジタルへの進化 世代>

現在における職場の中心的存在である管理職世代にあたり、就職前後にバブル経済の崩壊と共に就職氷河期の波が押し寄せたり、様々な冷戦状況を乗り越えてきた我慢強さがあり、忍耐力世代とも言えます。

家族や友人達と過ごす時間を重視し、1人より誰かと一緒に食事(飲酒)したり、イベント等に参加することを好む傾向があります。

◎ 情報収集に関してもインターネット等よりは「テレビ・新聞・雑誌」等が基本的に好き。



Y世代 ⇒ 1981年～1996年頃に生まれた層。 <スマートフォン・タブレット・SNS 世代>

バブル経済の崩壊後に「失われた20年」と呼ばれる長期の景気低迷時に青年期を過ごし、就職難「経済氷河期」に苦労した世代。既存の概念や常識に捉われない特徴を持つ個人主義世代とも言えます。

インターネット等の普及が活発な時代に育っているため、独自での情報収集等に基づき「価値観」「考え方」を学び個性(自分らしさ)を表現することに優れている。



◎ 携帯電話(SNS)等の普及等により、友人同士のコミュニケーション「仲間との繋がり」を特に重視。

Z世代 ⇒ 1997年～2012年頃に生まれた層。 <YouTube・TikTok・Line 世代>

子供の頃からパソコン(インターネット)やデジタル機器(スマートフォン)等に自然と触れる生活環境が整えられており、勉強(読書)やGAME等で多くの時間を費やし、買い物する際にもWebサイトやYouTubeおよびTwitter・Instagram等を参考にしながら「調べる」「学ぶ」「興味を持つ」作業を、瞬時に情報変換(収集)して得ることができる超画期的にSNSを操る多様性(ダイバーシティ)世代と言えます。

◎ 自分を重視している反面、他人の個性も尊重(大切)にする柔軟性も兼ね備えながら「不確かな情報(考え方)には左右されない」リスク回避等も含めた慎重さがあり、「信頼感」「安定志向」を求める。

現在の社会経済を支えている18歳以上の労働者層は、大まかに上記の3世代に分類されています。

年齢だけでなく、一人ひとりの個性(性格)、育ってきた環境、行動傾向(特性)、仕事に対する価値観等にも違いが多くのあります。

特に世代によっては、個性や自分らしさを大切に考える傾向(多様性重視)があり、非論理的な指示となるように「何故?今、その業務を急ぐ必要があるのか...」「何故?今、その業務を任せたいのか...」等を具体的に伝えることが、とても重要であり大切な部分だと感じます。世代により、価値観の尺度が異なり「感覚」で捉える曖昧な言葉を使えば「認識」のズレが生じてしまい、日頃からのコミュニケーションを互いに意識することがないと、円滑な業務遂行、良好な人間関係の構築に繋がるとは考え難くなります。



心配は「光」のように一瞬で広がり、安心は「雲」のように徐々に広がる!!

『老害』も『世代間ギャップ』に関しても、相手 ⇄ 自分の間に「時代背景」「価値観」「教育方針」「生活環境」等の明らかな違いが存在すれば、年功序列(上下関係)が色濃く残る時代を生きた世代から見れば、後輩(若い人)が頑張るのが当たり前、仕事上のフォローは極力しない、自らが率先して(積極性を全面)行動することはないと、「自分は第一線(現役)を退いた人間なので、責任(立場)も報酬(評価)も全く今迄とは違っているのに一生懸命に働く意味があるのか!!」などの考えが正直立ち、その年齢を迎えたら誰もが持つ感情だと感じます。

少しでも世代間の溝を埋めるためには、興味・関心を共有できる『共通』の話題等があれば「人と人との繋がり」が深まり、相手への理解や尊敬(親しみ)が生まれますので、スポーツでも音楽、映画、食べ歩き、釣り、キャンプ、GAME……何でも自分の時間を費やして取り組む趣味・趣向に関しては「情熱」が入るものが多く、負けたくない・先取りしたい・満喫感・達成感を追求するため、思わぬ発見&出逢い等もあるのでChallengeする気持ちがあれば年齢は全く関係ないです!! もっと色々と話せる環境を多く持つことが大切です。コロナ次第かな…。

